## マルチペイメント(MPN)利用方法

マルチペイメント(MPN)は、納付を管理したい輸入者の方や、ご自身で通関を行う自社通関の方に、特に向いている 納付方法です。

#### 通関業者に依頼するケース(輸入者)

輸入者は事前に輸入申告を行う通関業者に関税等の納付 方法をマルチペイメント(MPN)で行うように依頼する。

# 輸入者は輸入申告後に通関業者から「納付番号通知情報」をメールまたはFAX等にて入手する。

#### ご自身で通関するケース(自社通関)

輸入申告で関税等の納付方法をマルチペイメント (MPN)を選択する。

IDA(輸入申告事項登録)業務画面(抜粋)

納期限延長 BP申請事由 納付方 M 口座番号 担保番号 担保番号

IDA業務の納付方法欄にMを入力する。口座番号は入力しない。

輸入者は通関業者から入手した「納付番号通知情報」を もとに、ATMやインターネットバンキング、モバイルバ ンキング等で関税等を振込む。 輸入申告後「納付番号通知情報」が出力されるので、それ をもとにATMやインターネットバンキング、モバイルバ ンキング等で関税等を振込む。



## マルチペイメント(MPN)利用方法

振込み方法

金融機関により画面構成や表現が異なりますので、

画面に沿って手続きください。ATMを利用される場合は、



「納付番号通知情報」をもとに、収納機関コード(番号)、 納付番号、確認番号を入力して振込む。







### 関税・消費税等納付の場合のATM画面遷移

いらっしゃいませ ご希望の取引を選択してください 残高照会 お引き出し お振込み ご入金 お振替 税金・料金払込み	<ul> <li>①初期画面</li> <li>「税金・料金払込み」ボタンを選択</li> <li>【説明】</li> <li>1. 画面上の項目</li> <li>・白いボックス : 納付者が入力する項目</li> <li>・白いボックス以外 : 表示項目</li> <li>2. 画面上の項目名、画面遷移等は、イメージであり、標準化ガイドラインの規定の範囲内で 各金融機関が構築するもの</li> </ul>
税金・料金払込み 収納機関番号を入力してください	②収納機関番号入力画面 「収納機関番号」を入力
収納機関番号 00120 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 訂正 取消 確認	→税関は、"00120"
	③照会依頼画面 「納付番号」及び「確認番号」を入力
納付番号       0123456789         確認番号       012345         1       2         3       4         5       6         7       8         0       訂正         確認	<ul> <li>→NACCS又はCISで「納付番号」及び「確 認番号」を付与</li> <li>○納付番号は、11桁(輸入申告等毎に付与)</li> <li>○確認番号は、6桁(納付番号毎に付与)</li> </ul>
税金・料金払込み ただいま、納付情報の照会を行っております。 しばらくお待ち下さい。	④照会処理中画面 金融機関から照会依頼電文が税関システム へ送信され、税関システムからの照会応答電 文を受信して、「⑤照会応答画面」へ内容を表 示



